

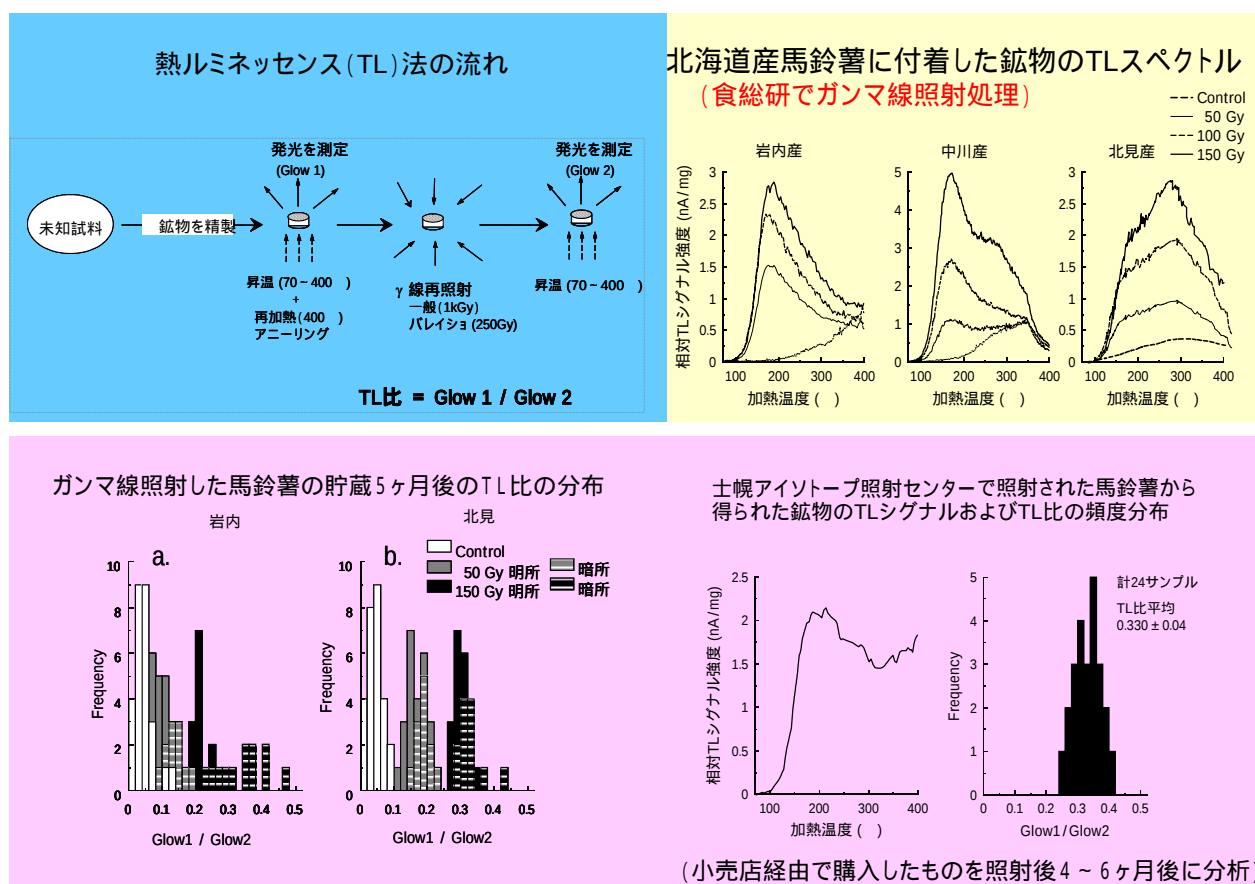
熱ルミネッセンス法による国産照射バレイシヨの検知

- EN1788法の適用可能性の検討 -

技術の特徴

- ・ヨーロッパ標準分析法(EN1788)の国産バレイシヨへの適用可能性を検討した。
- ・バレイシヨ付着土壌から分離したミネラルの熱蛍光を、基準線量(0.25kGy)照射の前後に測定し、発光量の比(TL比)を用いて判別を行う。
- ・国内の異なる産地のバレイシヨに適用し、判別の可能性を検証。
- ・冷暗所で6ヶ月間保存された市販の照射バレイシヨの判別が可能。

研究の内容



今後の展開

香辛料等の食品の熱ルミネッセンス法による検知も、本法で対応可能である。

参 考

中馬、斉藤、等々力:「熱ルミネッセンス法による国産照射馬鈴薯の検知」
日本食品化学工学会誌, 51(6) 298-303 (2004)



独立行政法人
食品総合研究所

代表研究者: 等々力節子
所 属: 食品工学部電磁波情報工学研究室
問い合わせ先: 〒305-8642
茨城県つくば市観音台2-1-12